## KaracrixBuilderV3 システムマニュアル

## 19章 システム一般環境設定

(章別取扱説明書 v1.10)

株式会社 エスアイ創房

## KaracrixBuilder

### ■改定履歴

- 第1.00版 2008/12/01
- 第1.10版 2015/08/10 Eメール接続環境設定の改変(KBv3.50)

■ おことわり

- (1) 本書内容の一部又は全部を、無断で他に転載することは禁止されています。
- (2) 本書内容は、将来予告無く変更する場合があります。

KARACRIX は株式会社エスアイ創房の登録商標です。

KaracrixBuilderV3 システムマニュアル 第 1.10版 © S.I.Soubou Inc.

# KaracrixBuilder

目次

1	9章 🕄	システム一般環境設定	. 19-1
	19.1	システムー般環境メニュー	19-1
	19.2	システムパラメータ設定	19-3
	19.2.1	1 Web 画像サイズ等に関する設定	19-4
	19.2.2	2 携帯画像サイズ等に関する設定	19-10
	19.2.3	3 Web&携帯メニュー表示に関する設定	19-16
	19.2.4	4 Web グラフ初期値に関する設定	19-17
	19.2.5	5 Web&携帯表示方法に関する設定	19-20
	19.2.6	6 Web&携帯操作許可に関する設定	19-23
	19.2.7	7 その他の設定	19-29
	19.3	リモートユーザの登録	19-32
	19.4	Eメール接続環境設定 (KaracrixBuilder-V3.50 以降)	.19 <b>-</b> 34
	19.5	画像記録方式の設定	19-38

=

## 19章 システム一般環境設定

KaracrixBuilder システムを使用して各種応用システムを構築運用するために、本章で説明するシステム環境設定を初めに行なって下さい。ここで設定した内容をシステムに反映させるには、KaracrixBuilder をリセット起動するか、一度終了して、再度起動する必要があります。

### 19.1 システム一般環境メニュー

「メインメニュー」画面から"システム設定"ボタンを押して「システム環境設定メニュー」画面を表示します。

本章では、「A. システム一般環境」について解説します。

「B. オブジェクト環境」については、「20章 オブジェクト環境設定」、「C. 記録ファイル環境」については、「21 章 記録ファイル環境設定」で解説していますので、そちらを参照して下さい。

システム一般環境設定に必要な各種機能のボタンが以下のようにAグループに表示されます。



図 19.1.1 システム環境設定メニュー画面

システム一般環境メニューの機能の概要を以下に記します。

## A. システムー般環境

1. システムパラメータ

システム全体の動作に影響がある共通パラメータの値を定義します。

(現在のところ、Web 画面と携帯画面の表示に関する定義が主なものです。)

2. リモートユーザ

Web ブラウザ、携帯端末または Eメールからアクセスする場合の認証ユーザーを登録します。

3. Eメール環境

Eメールを使用した各種機能を有効にするためにEメールの送受信環境を設定します。

4. 画像記録方式

画像記録方式ならびに記録容量などの設定を行います。ここで設定した記録方式が、タイムラプス機能 を使用する場合の基本設定として適用されます。

## 19.2 システムパラメータ設定

本設定は主にWebブラウザと携帯端末の表示に関連する環境パラメータを設定します。 「システム環境設定メニュー」画面から、"システムパラメータ"ボタンを押すと「システムパラメータ設定」画 面が表示されます。

システ	ームパラメータ設定		END
No.	設定項目	説明	設定
1	「Web画像サイズ等に関する設定」		
2	Web 監視& グラフ画像フォーマット	PNG, JPEG(圧縮)	PNG
3	Web 監視画面 初期サイズ表示	L=1, M=2, S=3 (Lのサイズ=1016×668)	1
4	Web 監視画面 M サイズ幅(w)	標準 808 ドット (8の倍数)	808
5	Web 監視画面 M サイズ高(h)	標準 528 ドット	528
6	Web 監視画面 S サイズ幅(w)	標準 720 ドット (8の倍数)	720
7	Web 監視画面 S サイズ高(h)	標準 472 ドット	472
8	Web 計測グラフ 初期サイズ表示	L=1, M=2, S=3 (Lの積幅ドット=932)	2
9	Web 計測グラフ L サイズ縦スケール幅	25~40~50	40
10	Web 計測グラフ M サイズ横幅	標準 660 ドット (60の倍数)	660
11	Web 計測グラフ M サイズ縦スケール幅	25~40~50	40
12	Web 計測グラフ S サイズ横幅	標準 480 ドット (60の倍数)	480
13	Web 計測グラフ S サイズ縦スケール幅	25~40~50	40
14	Web 記録グラフ 初期サイズ表示	L=1, M=2, S=3 (Lの横幅ドット=932)	2

図 19.2.1 システムパラメータ設定画面

システムパラメータ設定画面の設定項目別に以下で説明します。

### 19.2.1 Web 画像サイズ等に関する設定

Web ブラウザで監視画面や各種グラフを表示させるときの画面表示サイズに関する各種設定を主に 行います。

	シスラ	テムパラメータ設定		END ?
	No.	設定項目	説明	設定
	1	「Web画像サイズ等に関する設定」		
ſ	2	Web 監視&グラフ画像フォーマット	PNG,JPEG(圧縮)	PNG
	3	Web 監視画面 初期サイズ表示	L=1, M=2, S=3 (Lのサイズ=1016x668)	1
	4	Web 監視画面 M サイズ幅(w)	標準 808 ドット (8の倍数)	808
	5	Web 監視画面 M サイズ高(h)	標準 528 ドット	528
	6	Web 監視画面 S サイズ幅(w)	標準 720 ドット (8の倍数)	720
	7	Web 監視画面 S サイズ高(h)	標準 472 ドット	472
1~18	8	Web 計測グラフ 初期サイズ表示	L=1, M=2, S=3 (Lの横幅ドット=932)	2
	9	Web 計測グラフ L サイズ縦スケール幅	25~40~50	40
	10	Web 計測グラフ M サイズ横幅	標準 660 ドット (60の倍数)	660
	11	Web 計測グラフ M サイズ縦スケール幅	25~40~50	40
	12	Web 計測グラフ S サイズ横幅	標準 480 ドット(60の倍数)	480
	13	Web 計測グラフ S サイズ縦スケール幅	25~40~50	40
l	14	Web 記録グラフ 初期サイズ表示	L=1, M=2, S=3 (Lの横幅ドット=932)	2

図 19.2.2 システムパラメータ設定画面(Web 画像サイズ)

### Web 監視&グラフ画像フォーマット(PNG、JPEG)

Web ブラウザ画面で表示する監視画面及びグラフの画像ファイルのフォーマットを選択します。

- PNG: PNG は可逆圧縮の画像フォーマットであるため画像の劣化がありません。
- JPEG:写真などの自然画像の高圧縮時に向いているフォーマットです。この場合、画像ファイルを小 さくできるため Web 画面の表示を速くできますが、不可逆圧縮であるため線を多用した画像で は劣化が目立ちます。

### <監視画面に関するパラメータ>

②Web 監視画面 初期サイズ表示(L=1, M=2, S=3)

Web ブラウザでアクセスしたときに最初に表示される監視画面のサイズを(L=1、M=2、S=3 の)値で設定します。Lサイズでの画像サイズはコンソールの監視画面そのままの固定(1016ドットx 668ドット)になっています。M、Sサイズについては、以下の項目で設定した値になります。

(M、Sのサイズ設定に相互の制限はありません。M<S、M>S、M=S=Lでも構いません。)

本設定は、Web ブラウザのモニター画面の描画域のメニューに以下のように反映されます。



図 19.2.3 Web 監視画面での画像サイズ選択表示

サイズ別の画面表示の原点は、以下の図のようコンソール監視画面の左上に設定されています。



図 19.2.4 画面表示サイズと表示位置のイメージ

### ③Web 監視画面 M サイズ幅(w)

Web ブラウザでアクセス時の表示Mサイズ幅の値を設定します。 標準では、808 ドット (8の倍数値必須)です。

### ④Web 監視画面 M サイズ高(h)

Web ブラウザでアクセス時の表示Mサイズ高の値を設定します。 標準では、528 ドットです。

### ⑤Web 監視画面 S サイズ幅(w)

Web ブラウザでアクセス時の表示Sサイズ幅の値を設定します。 標準では、720 ドット (8の倍数値必須)です。

## ⑥Web 監視画面 S サイズ高(h)

Web ブラウザでアクセス時の表示Sサイズ高の値を設定します。 標準では、472 ドットです。

#### S.I.Soubou Inc. =

### <計測グラフに関するパラメータ>

### ⑦Web 計測グラフ 初期サイズ表示(L=1, M=2, S=3)

Web ブラウザでアクセスしたときに最初に表示される計測トレンドグラフのサイズを(L=1、M=2、S=3の) 値で設定します。Lサイズでの画像サイズ幅はコンソールの計測トレンドグラフ画面そのままの固定 (932ドット)になっています。M、Sサイズについては、以下の項目で設定した値になります。 (M、Sのサイズ設定に相互の制限はありません。M<S、M>S、M=S=Lでも構いません。) 本設定は、Web ブラウザの計測グラフ画面のサイズのメニューに以下のように反映されます。



図 19.2.5 Web 計測グラフ画面での画像サイズ選択表示

画面表示の原点は、以下の図のように右側の最新時刻線に設定されています。 計測グラフの画像サイズは、表示時間帯の長さに対応しています。



原点(最新時刻計測位置)

図 19.2.6 Web 計測グラフ画面での画像サイズと原点

### ⑧Web 計測グラフ L サイズ縦スケール幅

計測トレンドグラフの L サイズの表示縦スケールの間隔幅をドット単位(25~50)で設定します。 デフォルト値は 40 ドットです。

縦スケールの間隔のイメージを下記の図に示します。



図 19.2.7 Web 計測グラフ画面での縦スケール幅

### ⑨Web 計測グラフ M サイズ横幅

Web ブラウザでアクセス時のグラフ表示Mサイズ幅の値を設定します。

標準では、660 ドット (60 の倍数値必須)です。

※1ドット当たりの時間幅はコンソールの計測トレンドグラフ画面の記録サンプリング時間と同じです。

### 10Web 計測グラフ M サイズ縦スケール幅

計測トレンドグラフの M サイズの表示縦スケールの間隔幅をドット単位(25~50)で設定します。 デフォルト値は 40 ドットです。

### ①Web 計測グラフ S サイズ横幅

Web ブラウザでアクセス時のグラフ表示Sサイズ幅の値を設定します。 標準では、480 ドット(60の倍数値必須)です。 ※1ドット当たりの時間幅はコンソールの計測トレンドグラフ画面の記録サンプリング時間と同じです。

## 12Web 計測グラフ S サイズ縦スケール幅

計測トレンドグラフの S サイズの表示縦スケールの間隔幅をドット単位(25~50)で設定します。 デフォルト値は 40 ドットです。

#### S.I.Soubou Inc. =

19-7

### <記録グラフに関するパラメータ>

### ①Web 記録グラフ 初期サイズ表示(L=1, M=2, S=3)

Web ブラウザでアクセスしたときに最初に表示される記録トレンドグラフのサイズを(L=1、M=2、S=3の) 値で設定します。Lサイズでの画像サイズ幅はコンソールの記録トレンドグラフ画面そのままの固定 (932ドット)になっています。M、Sサイズについては、以下の項目で設定した値になります。 (M、Sのサイズ設定に相互の制限はありません。M<S、M>S、M=S=Lでも構いません。) 本設定は、Web ブラウザの記録グラフ画面のサイズのメニューに以下のように反映されます。



図 19.2.8 Web 記録グラフ画面での画像サイズ選択表示

画面表示の原点は、以下の図のように左側の表示開始線に設定されています。 記録グラフの画像サイズが変っても、表示期間の長さは同じです。



図 19.2.9 Web 記録グラフ画面での画像サイズと表示開始原点

### (Web 記録グラフ L サイズ縦スケール幅

記録トレンドグラフのLサイズの表示縦スケールの間隔幅をドット単位(25~50)で設定します。 デフォルト値は40ドットです。

※縦スケールの間隔のイメージは「⑧Web 計測グラフ L サイズ縦スケール幅」の解説と同じですのでそちらを参照して 下さい。

### 15Web 記録グラフ M サイズ横幅

Web ブラウザでアクセス時のグラフ表示Mサイズ幅の値を設定します。 標準では、660 ドット (60 の倍数値必須)です。

### 16Web 記録グラフ M サイズ縦スケール幅

記録トレンドグラフのLサイズの表示縦スケールの間隔幅をドット単位(25~50)で設定します。 デフォルト値は40ドットです。

### ①Web 記録グラフ S サイズ横幅

Web ブラウザでアクセス時のグラフ表示Sサイズ幅の値を設定します。 標準では、480 ドット (60 の倍数値必須)です。

### 18Web 記録グラフ S サイズ縦スケール幅

記録トレンドグラフの S サイズの表示縦スケールの間隔幅をドット単位(25~50)で設定します。 デフォルト値は 40 ドットです。

## 19.2.2 携帯画像サイズ等に関する設定

携帯端末から監視画面と計測トレンドグラフを表示させるときの画面表示サイズに関する各種設定を行います。

	No.	設定項目	記明	設定
	20	「携帯画像サイズ等に関する設定」		
1	21	携带監視画面選択表示	1:リスト選択 2:ボタン(任意位置)選択	2
	22	携帯監視画面 初期サイズ表示	画面-1~8(ボタン選択時)	3
	23	携帯監視画面-1(許可:X,Y,W,H[,圧縮])	許可= 0:禁止 1:許可	1:0,0,96,72
	24	携帯監視画面-2(許可:X,Y,W,H[,圧縮])	X= 画面X位置[左上原点] (リスト選択時)	1:0,0,96,120
	25	携帯監視画面-3(許可:X,Y,W,H[,圧縮])	Y= 画面Y位置[左上原点] (リスト選択時)	1:0, 0, 120, 120
	26	携帯監視画面-4(許可:X,Y,W,H[,圧縮])	№ 画面幅 40~480 ドット(8の倍数)	1:0, 0, 160, 120
$\langle  $	27	携帯監視画面-5(許可:X,Y,W,H[,圧縮])	H= 画面高 40~480 ドット	1:0, 0, 176, 144
	28	携帯監視画面-6(許可:X,Y,W,H[,圧縮])	圧縮= 1[省略時]~2倍(リスト選択時)	1:0, 0, 240, 176
	29	携帯監視画面-7(許可:X,Y,W,H[,圧縮])	例) 1:0,0,96,72	1:0, 0, 240, 320
	30	携帯監視画面-8(許可:X,Y,W,H[,圧縮])	例) 0:100,100,96,72,2	1:0, 0, 320, 320
	31	携帯グラフ画面表示型	1:リスト選択 2:ボタン選択	1
	32	携帯グラフ画面 初期サイズ表示	画面-1~8(ボタン選択時)	3
	33	携帯グラフ画面-1(許可:W,H[,圧縮])	許可= 0:禁止 1:許可	1:96, 72, 1

図 19.2.10 システムパラメータ設定画面(携帯画像サイズ)

## KaracrixBuilder

### ①携帯監視画面選択表示

携帯画面では、表示エリアに制限があるため選択した監視画面が携帯画面よりも大きな場合、表示領 域を小窓から覗くように分割して選択表示することができます。この時に、表示エリア(表示方法)を選択 するメニューの表示方法には以下の2つがあり、これを選択します。 (設定値) 1:リスト選択 2:ボタン選択

(1)リスト選択

リスト選択では、下図のように表示エリアをリストにして直接選択することができます(1コンソール監視 画面あたり最大8画面まで)。このリストで表示される画面-1~画面-8(画面名称は現在固定)を選択した時 の表示画像サイズや画像圧縮率は、以下の「③携帯監視画面-1~8」の設定項目で設定された値 に従います。



[携帯メニュー]→[モニター]→[モニタ画面選択]→[リモート I/O テスト]

(2)ボタン(任意位置)選択

ボタン選択では、下図のように表示エリアをプルダウンメニューから選択する方法です。X、Y 方向の 移動量と画像圧縮率をメニューから選択することが出来ます。



1) リモートI/Oデ top_back ок	スト
サイズ= S-3 ▼ X移動= 1 ▼ Y移動= 1 圧縮= ×2 6 7 8 9 10	

[携帯メニュー]→[モニター]→[モニタ画面選択]→[リモート1/0テスト] 図 19.2.12 携帯監視画面でのボタン選択メニュー

図 19.2.11 携帯監視画面でのリスト選択メニュー

#### ②携帯監視画面 初期サイズ表示

①携帯監視画面選択表示のボタン選択方式を選択している時に有効です。 初期表示される画面サイズは、画面-1~8の中の一つを番号で設定します。 画面-1~8 は、プルダウンメニュー表示される S-1~S-8 に対応しています。

### ③携帯監視画面-1~8(許可:X,Y,W,H[,圧縮])

「画面-1~8」を選択した時の各種表示情報を設定します。

リスト選択、ボタン選択ともに画面表示時に使用されます。

下記許可設定は、画面-1~8の使用(表示)を許可するかの設定です。

禁止した場合、メニューに表示されなくなります。(表示するリストを少なめに表示したいときに有効です)

(設定値)

許可: 0:禁止 1:許可(表示)

- X: 左上原点のX座標をドットで設定します。(ボタン選択時は本設定値無効ただしダミー値必要)
- Y: 左上原点のY座標をドットで設定します。(ボタン選択時は本設定値無効ただしダミー値必要)
- W: 表示画像の幅をドットで設定します。40~480 ドット (8の倍数値必須)で指定。

H: 表示画像の高さをドットで設定します。40~480 ドットで指定。

圧縮: 表示画像の圧縮倍率を指定します。1倍[省略時]あるいは2倍で指定。(ボタン選択時有効)

例) 1:0,0,96,72

例) 0:100,100,96,72,2

## KaracrixBuilder

リスト選択における表示画面の位置と各設定の関係を以下の図に示します。



図 19.2.13 リスト選択時の表示位置の関係(最大8画面)

ボタン選択における表示画面の移動位置と各設定の関係を以下の図に示します。

	W			
Η	X 移動=1 Y 移動=1	X 移動=2 Y 移動=1	X 移動=3 Y 移動=1	X 移動=4 Y 移動=1
	X 移動=1 Y 移動=2			
			X 移動=3 Y 移動=3	
	X 移動=1 Y 移動=4			

図 19.2.14 ボタン選択時の表示位置とX、Yの移動値の関係

### ④携帯グラフ画面選択表示

携帯画面では、表示エリアに制限があるためグラフを表示条件別に選択描画することが出来ます。この時に、表示エリア(表示方法)を選択するメニューの表示方法には以下の2つがあり、これを選択します。

(設定値) 1:リスト選択 2:ボタン選択

(1)リスト選択

リスト選択では、下図のようにグラフ表示エリアをリストにして直接選択することが出来ます。このリスト で表示される画面-1~画面-8の画像サイズや画像圧縮率は、以下の「⑥携帯グラフ画面-1~8」の 設定項目で設定された値に従います。



[携帯メニュー]→[計測グラフ]→[グラフ画面選択]→[サンプル記録] 図 19.2.15 携帯グラフ画面でのリスト選択メニュー

(2)ボタン選択

ボタン選択では、下図のようにグラフ表示エリアをプルダウンメニューから選択する方法です。画像 圧縮率もプルダウンメニューから選択します。



[携帯メニュー]→[計測グラフ]→[グラフ画面選択]→[サンプル記録] 図 19.2.16 携帯グラフ画面でのボタン選択メニュー

## KaracrixBuilder

### ⑤携帯グラフ画面 初期サイズ表示

④携帯グラフ画面選択表示のボタン選択方式を選択している時に有効です。 初期表示される画面サイズは、画面-1~8の中の一つを番号で設定します。 画面-1~8 は、プルダウンメニュー表示される S-1~S-8 に対応しています。

### ⑥携帯グラフ画面-1~8(許可:W,H[,圧縮])

携帯グラフ「画面-1~8」を選択した時の各種表示情報を設定します。 リスト選択、ボタン選択ともに画面表示時に使用されます。 下記許可設定は、画面-1~8の使用(表示)を許可するかどうかの設定です。 禁止した場合、メニューに表示されなくなります。(表示するリストを少なめに表示したいときに有効です) ※表示グラフ幅(W)の1ドット当たりの時間幅はコンソールの計測トレンドグラフ画面の記録サンプリング時間と同じで す。

(設定値)

- 許可: 0:禁止 1:許可(表示)
- W: 表示グラフの幅(時間)をドットで設定します。40~480 ドット (8の倍数値必須)で指定。
- H: 表示グラフの高さをドットで設定します。40~480 ドットで指定。
- 圧縮: 表示画像の圧縮倍率を指定します。1[省略時]~4倍で指定。(ボタン選択時有効) 圧縮倍率に応じWの長さは変わらずに表示時間が長くなりグラフ曲線が圧縮表示されます。
- 例) 0:96,72
- 例) 1:96,72,1
- 例) 1:240,176,3

グラフ画面の表示エリアと設定の関係を以下の図に示します。



図 19.2.17 携帯グラフ画面での表示原点

19-15

## 19.2.3 Web&携帯メニュー表示に関する設定

Web ブラウザ画面や携帯画面に表示されるメニューに関する各種設定を行います。

システムパラメータ設定							
No.	設定項目	言说明	設定				
41	「Web&携帯メニュー表示に関する設定」						
42	Web メニュー(ポイント)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1	T			
43	Web メニュー(モニター)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
44	Web メニュー(計測グラフ)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
45	Web メニュー(記録グラフ)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
46	Web メニュー(操作履歴)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
47	Web メニュー(警報履歴)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
48	Web メニュー(スケジュール)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
49	Web メニュー(記録データ)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
50	Web メニュー(レポート)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
51	Web メニュー(パラメータ)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
52	携帯 メニュー(ポイント)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	Ĩ				
53	携帯 メニュー(モニター)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				
54	携帯 メニュー(計測グラフ)	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1				

図 19.2.18 システムパラメータ設定画面(Web&携帯メニュー表示)

設定値は以下のようにログイン時のユーザ権限によって公開するメニューにするかどうかを設定します。 (設定値)

- 1: 一般+管理者
- 2: 管理者のみ
- 0: 非公開

## KaracrixBuilder

## 19.2.4 Web グラフ初期値に関する設定

Web ブラウザで表示するグラフ画面表示に関する各種設定を行います。



図 19.2.19 システムパラメータ設定画面(Web グラフ初期値&表示方法)

### ①Web 記録グラフ 開始日初期値

Web ブラウザで記録トレンドグラフ表示する時の初期開始日を、本日を起点(0)として何日前から表示 するのかを以下の範囲の値で設定します。

(設定値) 0(本日) ~ 6(日前)

以下に、本設定を5(日前)に設定した時の考え方を示します。



図 19.2.20 開始日初期値と期間日数 (表示期間7日間時の例、表示期間は下記②参照)

### ②Web 記録グラフ 期間日数初期値

Web ブラウザで記録トレンドグラフ表示する時の初期表示期間日数を以下の範囲の値で設定します。 (設定値) 1(日)~7(日)

本設定により、Web 画面での期間メニューのデフォルト値が以下の図のように設定されます。 (図は設定値7の1週間(1week)の場合)

KARACRIX	2.	サンプル記録					
<u>1.ポイント</u>	TP6	長示開始 2007 ▼ 年 10 ▼ 月 15 ▼ 日 0 ▼ 時 / 期間	1 week 💌	サイズ M 💌	データ off 💌	->実行	τ
クエーター			2 hours			1	.)•—
<u> 2. C – 2 –</u>			3 hours				x
2 SL38(47.5-5	0 †		6 hours				100.0
<u>3. at 1897 3.7</u>			9 hours			1	1
4	9		12 hours				90.0
<u>4.記録クラノ**</u>	-		1 day				
			2 days			1	
<u>5.1米作腹歴</u>	°		4 days				i 80.(
C #6 #0 FB FF			5 days			1	1
<u>6. 管靴腹歴</u>	7		6 days				70.0
_			1 week			1	1
<u> /.スケジュール</u>	6		2 weeks				60.0
			3 weeks			1	
8.記録データ	-		1 month			1	- FO
	0		2 month —				j 50.0
<u>9.帳票</u>			3 month				1
	4		4 month				40.C
<u>10.パラメータ</u>			• month	1		1.1	1

図 19.2.21 Web 記録グラフの期間日数のメニュー表示

### ③Web グラフレンジ描画初期値

本設定は、計測及び記録トレンドグラフで共通のものです。

Web ブラウザで他の画面からグラフ画面に移った時を含めた最初のアクセス時のグラフ描画の縦スケールに、最大スケール値(ポイント登録の属性で設定した「上下限スケール値(表示用)」)を用いるか、計測あるいは記録トレンドグラフの「グラフ描画条件設定」画面内に設定されている表示上下限値を用いるかを設定します。

(設定値) 1:最大スケール値(ポイント属性設定値) 2:グラフ画面の描画条件設定値(個別)

以下の図に、Web 画面の表示例を示します。

ここでは、ai004、ai005の2つのポイントの描画例です。

ai004、ai005 とも最大スケール値(100)の初期設定でグラフ描画させ、その後に、ai005 の上限を任意 (200)に変更して"->実行"ボタンを押し再表示させました。スケールは Web 画面初期値表示後、その 画面内で有効な個別変更ができます。



図 19.2.22 Web 計測グラフ表示(グラフレンジ)

### 19.2.5 Web&携帯表示方法に関する設定

Web ブラウザや携帯端末での表示方式に関する各種設定を行います。

### ④Web&携帯 コンソール画面タイトル通番表示

Web ブラウザや携帯端末で表示される監視画面やグラフ画面等のタイトル通番を Web&携帯上で表示される順に番号を振り直して表示するか、画面登録時の画面番号で表示するのかを設定します。

(設定画面登録番号表示の場合)

(設定値) 1: Web 画面通番

2: 設定画面の登録番号

以下の図に例を示します。

(Web 画面通番表示の場合)



図 19.2.23 Web 画面通番表示と設定画面登録番号表示

⑤携帯 ポイント名

携帯画面は表示領域が狭くポイントの各種名称を全て表示させることができませんので、運用上最も 識別表示しやすいポイントの識別子を以下の項目から選択します。 (設定値) 1:OBJID 2:TAG名 3:ポイント名称

ポイント登録画面で以下のような設定になっている場合のポイント識別子の例を示します。

選択	♥種類				選択/用途(デフォルト設定)		
全(非圧縮)     DI     D0     PI     AI     AO     IMG         基本     表示     警報     その他     汎用							
No.	種別	OBJID	タグ名	ポイント名	属性設定	M3	MB
1	DI	di001	T-di001	窓センサ1	(ON/OFF) (ALM/-)	*	*
2	DI	di002	T-di002	窓センサ2	(ON/OFF) (ALM/-)	*	*
3	DI	di003	T-di003	ドアセンサ1	(ON/OFF) (ALM/-)	*	*
	DT	di004	T-di004	N-di004	(ON/OFE) (ALM/-)	*	*

図 19.2.24 ポイント登録画面でのポイントの各名称

(携帯画面でのポイント表示)

ポイント 状態 警報 ロック

1:OBJID

接点入力一覧 top back

di001 ON di002 ON ALM

di003 OFF

di004 OFF

di005 OFF

di006 OFF

di007 OFF

di008 OFF

di009 OFF

di010 OFF

2·TAG	名
<b>2.</b> 1110	<u>сн</u>

3:ポイント名称

接点入力一覧 <u>top</u> <u>back</u>	接点入力一覧 top back
ポイント 状態 警報 ロック <u>T-di001</u> ON <u>T-di002</u> ON ALM <u>T-di003</u> OFF <u>T-di004</u> OFF <u>T-di005</u> OFF <u>T-di005</u> OFF <u>T-di006</u> OFF <u>T-di008</u> OFF <u>T-di009</u> OFF <u>T-di010</u> OFF	ボイント 状態 警報 ロック <u>窓センサ1</u> ON <u>窓センサ2</u> ON ALM <u>ドアセンサ1</u> OFF <u>N-di004</u> OFF <u>N-di005</u> OFF <u>N-di005</u> OFF <u>N-di007</u> OFF <u>N-di008</u> OFF <u>N-di009</u> OFF <u>N-di009</u> OFF <u>N-di010</u> OFF

[携帯メニュー]→[ポイント]→[接点入力]→[接点入力一覧]

図 19.2.25 携帯画面でのポイント名表示の違い

### ③携帯 操作部並び位置

後述の「④携帯オブジェクト状態操作許可」と「⑤携帯オブジェクトロック操作許可」の許可がされてい る場合に有効です。

携帯画面のポイント操作画面の操作部の表示で、状態操作とロック操作のどちらを先に表示するかを 設定します。

(設定値) 1:前(操作)/後(ロック) 2:前(ロック)/後(操作)

(例)

1:前(操作)/後(ロック)	2:前(ロック)/後(操作)
ID) do001 N-do001 <u>top</u> back	ID) do001 N-do001 <u>top</u> back
状態= OFF オベ= 初期 警報= OFF ロック= OFF	状態= OFF オペ= 初期 警報= OFF ロック= OFF
コントロール C ON C OFF OK	ロック操作 © ON © OFF _ OK _
ロック操作 C ON C OFF OK	コントロール © ON © OFF ок

[携帯メニュー]→[ポイント]→[接点出力]→[接点出力一覧]→[do001]

図 19.2.26 携帯画面でのロック操作の表示順の違い

## 19.2.6 Web&携帯操作許可に関する設定

Web ブラウザや携帯端末での操作モードに関する各種設定を行います。

	システ	ムパラメータ設定		EN	© [?
	No.	設定項目	記知月	設定	
	66	「Web&携帯操作許可に関する設定」			
(	67	Web オブジェクト状態操作許可	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1	▼
	68	Web オブジェクトロック操作許可	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	2	
	69	Web オブジェクト属性操作許可	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	0	8
1~7	70	携帯オブジェクト状態操作許可	1:一般:管理者 2:管理者のみ 0:非公開	1	
	71	携帯オブジェクトロック操作許可	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	2	
	72	Web コンソール画面定義書換ボタン配置許可	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	2	
U	73	Web オブジェクト属性FILE書込ボタン配置許可	1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開	2	
1	74	「その他の設定」			
	75	オブジェクト識別表示	1:OBJID 2:TAG名	1	
	76	入力系ダイアログ画面選択	1:表示のみ 2:表示+設定	2	
	77	操作警報履歴初期時順(コンソール&Web&携帯)	1:降順 2:昇順	1	
	78	Web&携帯 ログイン認証	1:認証, 2:フリーパス	1	
	79	Web CPUリセット入力許可	1:禁止, 2:リセット許可	1	

図 19.2.27 システムパラメータ設定画面(Web&携帯操作許可)

設定値は以下のようにログイン時のユーザー権限によって公開するメニューにするかどうかを設定します。

(設定値)

- 1: 一般+管理者
- 2: 管理者のみ
- 0: 非公開

## ①Web オブジェクト状態操作許可

### ②Web オブジェクトロック操作許可

ポイント状態一覧画面から「設定」及び「ロック」の操作を許可するかどうかを設定します。 許可されないものは、一覧表示されなくなります。

以下の画面例では、「設定」及び「ロック」ともに許可されている状態を示しています。

KARACRIX	分類選択						_		_
<u>1.ポイント *</u>	1 培占入力 *	No.	OBJID	名称	状態	設定	警報	D70	通信
0	1. 18	1	di001	運転状態1	OFF	set	-	:	•
<u>2.t_9-</u>	<u>2. 接点出力</u>	2	di002	運転状態2	OFF	set	-	:	•
0.6138048			4:002	Linea					

図 19.2.28 Web 画面でのポイント状態一覧画面(「設定」「ロック」許可時)

以下の画面例では、「設定」のみ許可されて「ロック」は許可されていない状態を示しています。

KARACRIX	分類選択						-		
<u>1.ポイント *</u>	1 接占入力 *	No.	OBJID	名称	状態	設定			通信
2.7.7.5.	1. 18 × 777	1	di001	運転状態1	OFF	set		-	-
<u>2.t_3+</u>	<u>2. 接点出力</u>	2	di002	運転状態2	OFF	set	T	-	-
<u>3.計測グラフ</u>	<u>3. カウンタ入力</u>	3	di003	di003	OFF	set		-	-

図 19.2.29 Web 画面でのポイント状態一覧画面(「設定」のみ許可時)

### ③Web オブジェクト属性操作許可

ポイント属性の設定をWeb 画面から許可させるかどうかを設定します。 許可させた場合、ポイント状態変更設定画面に属性設定画面を呼ぶためのボタンが配置されます。 なお、ポイント状態変更設定画面は、ポイント状態一覧画面から呼ばれますので、「①Web オブジェクト 状態操作許可」が許可されている必要があります。

KARACRIX	分類選択	
<u>1.ポイント *</u>	<u>. 接点入力 *</u>	OBJID : di001 ボイント名 : 運転状態1
<u>2.モニター</u>	<u>2. 接点出力</u>	現在の状態 : OFF
<u>3.計測グラフ</u>	<u>3. カウンタ入力</u>	
<u>4.記録グラフ</u>	<u>4. アナログ入力</u>	O ON
<u>5.操作履歴</u>	<u>5. アナログ出力</u>	
<u>6.警報履歴</u>	<u>6. イメージ入力</u>	OK
<u>7.スケジュール</u>	<u>7. ロック点一覧</u>	
<u>8.記録データ</u>	<u>8. 警報点一覧</u>	ホイントの 属性設定 SET
<u>9.帳票</u>	<u>9. グループ選択</u>	

[Web メニュー]→[ポイント]→[接点入力]→[接点入力一覧] →[di001 の設定(set)]

図 19.2.30 Web 画面でのポイント状態変更設定画面(DI ポイント例)

上図のポイントの属性設定ボタンをクリックすると以下のように属性設定(「5章 Web・モバイル・Eメールによる監視・操作 5.4」参照)を行うことができます。

-		
KARACRIX	分類選択	
<u>1.ポイント *</u>	<u>1. 接点入力 *</u>	OBJID     : di001       ボイント名     運転状態1          状態設定     キャンセル
<u>2.モニター</u>	<u>2. 接点出力</u>	
<u>3.計測グラフ</u>	<u>3. カウンタ入力</u>	警鴨許可 on ▼
<u>4.記録グラフ</u>	<u>4. アナログ入力</u>	整数 属性 1 0 実数 属性 1 0.000
<u>5.操作履歴</u>	5. アナログ出力	整数 属性 2 0 実数 属性 2 0.000
<u>6.警報履歴</u>	6. イメージ入力	整数 属性 3 0 実数 属性 3 0.000
7. <u>2591-14</u>		整数 暦性 4 U 実数 暦性 4 U.000
- 8 記録データ	<u>7. ロッン点ご見</u>	xxx 病に 5 0 000 xxx 病に 5 0.000 xxx 病に 5 0.000
OLALIANO D	<u>8. 警報点一覧</u>	
<u>9.帳票</u>	<u>9. グループ選択</u>	文字 属性 1
<u>10.パラメータ</u>		文字 属性 2

[Webメニュー]→[ポイント]→[接点入力]→[接点入力一覧] →[di001の設定(set)] →[属性設定(SET)ボタン]

図 19.2.31 Web 画面でのポイント属性設定画面(DIポイント例)

## ④携帯オブジェクト状態操作許可

### ⑤携帯オブジェクトロック操作許可

"状態操作許可"の場合、「コントロール」操作部の表示を、

"ロック操作許可"の場合、「ロック点一覧」メニュー項目、一覧画面の「ロック」欄、及び「ロック操作」部の表示をさせるかどうかの許可を設定します。

以下の例では、"状態操作許可" "ロック操作許可"ともに許可されており、ポイント分類選択のメニュ ーで「ロック点一覧」の項目が、接点出力選択例の接点出力一覧には「ロック」の項目が、そしてポイン トの操作画面では、「コントロール」と「ロック操作」部が表示されています。



[携帯メニュー]→[ポイント] →[接点出力] →[do001]

図 19.2.32 携帯ポイント操作メニュー画面(「状態」「ロック」許可時)

"状態操作許可" "ロック操作許可"ともに許可しなかった場合には、上図の対応するそれぞれの部分 が表示されていないことが判かります。



[携帯メニュー]→[ポイント] →[接点出力] →[do001]

図 19.2.33 携帯ポイント操作メニュー画面(「状態」「ロック」ともに不許可時)

### ⑥Web コンソール画面定義書換ボタン配置許可

Web 画面から、コンソール画面上で設定されている各種定義値を書き換える(運用注意)為の設定保存 ボタンを表示させるかどうかを設定します。設定は以下に示す画面で一律有効となります。

1. 計測グラフ (コンソール画面:計測トレンドグラフ→グラフ描画条件設定)

計測グラフの上下限スケール変更の設定保存ボタンが表示される。



[Web メニュー]→[計測グラフ]→[サンプル記録]

2. 記録グラフ (コンソール画面:記録トレンドグラフ→グラフ描画条件設定)

記録グラフの上下限スケール、打印有無、警報表示の変更の設定保存ボタンが表示される。

<u>1<i>77</i>0</u>	1 0 2/2 00:00		2 00	// 4 1:06		2/6 00:13				2/ 8 00:04		ON(1) OFF(0)	
	No 1) 2) 3)	. OBJID di001 ai003 ai004	名称 運転状態1 気圧センサ3 温度センサ4	スケール 10 / 1 100.00 / 0.00 100.00 / 0.00	上限 1 100.00 100.00	下限 0.00 0.00	単位 hPa ℃	کا اک ال	警報 □ □	設定保存	]		

[Web メニュー]→[記録グラフ]→サンプル記録]

### 3. 操作履歴ダウンロード

操作履歴の検索出力条件設定(デリミタ、漢字コード)保存ボタンが表示される。

KARACRIX	
<u>1.ポイント</u>	操作履歴ダウンロード
<u>2.モニター</u>	検索開始 2008年2月6日 22時10分 検索線2 2008年2月8日 22時10分
<u>3.計測グラフ</u>	検索順序 降順
<u>4.記録グラフ</u>	ダウンロードファイル名 ope_20080207_221020.txt
5.操作履歴 <u>*</u>	参ウンロード
<u>6.警報履歴</u>	
<u>7.スケジュール</u>	A. 検索出力条件 最大行数 [500 (max=1000)
<u>8.記録データ</u>	FUS⊅ © CR+LF O CR O LF
<u>9.帳票</u>	漢字コード ● SJIS ● EUC ● UTF8 設定保存
<u>10.パラメータ</u>	B. 検索データ数
<u>11.システム</u>	対象は全部で 29 あります。

[Web メニュー]→[操作履歴]

4. 警報履歴ダウンロード

警報履歴の検索出力条件設定(デリミタ、漢字コード)保存ボタンが表示される。

KARACRIX	
<u>1.ポイント</u>	警報履歴ダウンロード
<u>2.モニター</u>	検索開始 2008年2月6日 22時15分 検索線了 2008年2月8日 22時15分
<u>3.計測グラフ</u>	検索順序 降順
<u>4.記録グラフ</u>	ダウンロードファイル名 alm_20080207_221544.txt
<u>5.操作履歴</u>	※コーレングをついて、 第一日の一下
<u>6.警報履歴*</u>	
<u>7.スケジュール</u>	A. 模梁出力余件 最大行数 [500 (max=1000)
<u>8.記録データ</u>	FUSA CRHF CCR CLF
<u>9.帳票</u>	漢字コード © SJIS C EUC C UTF8 設定保存
<u>10.パラメータ</u>	B.検索データ数
<u>11.システム</u>	対象は全部で3あります。

[Web メニュー]→[警報履歴]

5. 記録データ

記録データの検索出力条件設定(デリミタ、漢字コード)保存ボタンが表示される。

KARACRIX						
<u>1.ポイント</u>	1.アナ	ロググルー	ープ-A			
<u>2.モニター</u>	検索	開始	2008 年[	2 💌	月6一日	22 ▼時 17 ▼ 分
<u>3.計測グラフ</u>	ダウン	r会」 ロードファイル	2008 平 V名 log_2008020	2 <b>1</b> 7_2217	40.txt	22 V UT 11 V )]
<u>4.記録グラフ</u>						
<u>5.操作履歴</u>	 	ンロード				
<u>6.警報履歴</u>	A. 検索	3出力条件				
<u>7.スケジュール</u>	最大行	F数 500	(max=99999)			
8 記録データ *	デリミ	9 🔍 CI	R+LF OCR O	LF		
	漢字=	1-F 🔍 S.	JIS OEUC OI	JTF8	設定保存	
<u>9.帳票</u>						
10.パラメータ	B. 検索	対象オブ	ジェクト (サーバ側)	资定)		
	No.	OBJID	名称	型	フォーマット	
<u>11.システム</u>	1	ai001	湿度センサ1	AI	%8.2f	
	2	ai002	温度センサ2	AL	%8.2f	
<u>ログアウト</u>	3	ai003	気圧センサ3	AI	%8.2f	
	4	ai004	温度センサ4	AI	%8.2f	

[Web メニュー]→[記録データ]→[アナロググループ-A]

図 19.2.34 Web コンソール画面定義書換ボタン配置許可画面

### ⑦Web オブジェクト属性 FILE 書込ボタン配置許可

Web 画面から、コンソール画面上で設定されているポイントの属性設定値を書き換えて(運用注意)設定の保存をさせるかどうかを設定します。設定に許可を選んだ場合、ポイントの属性設定画面に保存 実行をさせる"状態設定+ファイル保存"ボタンが配置されます。

ポイントの属性設定画面で以下の様に"状態設定+ファイル保存"ボタンが表示されます。

KARACRIX	分類選択	
<u>1.ポイント *</u>	<u>1. 接点入力 *</u>	OBJID : di001               状態設定             「キャンセル             状態設定             ・ファイル保存            ボイント名 : 運転状態1              状態設定
<u>2.モニター</u>	<u>2. 接点出力</u>	
<u>3.計測グラフ</u>	<u>3. カウンタ入力</u>	警報許可 on 🗾
<u>4.記録グラフ</u>	<u>4. アナログ入力</u>	整数属性-1 0 実数属性-1 0.000
<u>5.操作履歴</u>	<u>5. アナログ出力</u>	整数属性-2 0 実数属性-2 0.000
<u>6.警報履歴</u>	<u>6. イメージ入力</u>	整款属性-3 0 実数属性-3 0.000 整数属性-4 0 実数属性-4 0.000
<u>7.スケジュール</u>	<u>7. ロック点一覧</u>	整数属性-5 0 実数属性-5 0.000
<u>8.記録データ</u>	8. 警報点一覧	整数属性-6 0 実数属性-6 0.000
<u>9.帳票</u>	<u>9. グループ選択</u>	文字属性-1
<u>10.11 אבראב 10</u>		文字属性-2

[Web メニュー]→[ポイント]→[接点入力]→[接点入力一覧] →[di001 の設定(set)] →[属性設定(SET)ボタン]

図 19.2.35 Web オブジェクト属性 FILE 書込ボタン配置許可画面

## KaracrixBuilder

#### 19.2.7 その他の設定 システムパラメータ設定 END ? 設定項目 設定 No. 前明 72 Web コンソール画面定義書換ボタン配置許可 1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開 2 73 Web オブジェクト属性FILE書込ボタン配置許可 1:一般+管理者 2:管理者のみ 0:非公開 2 ¥ 74 「その他の設定」 オブジェクト識別表示 1 75 1:0B.ITD 2:TAG名 2 76 入力系ダイアログ画面選択 1:表示のみ 2:表示+設定 1 $\bigcirc$ ~(5) 77 操作警報履歴初期時順(コンソール&Web&携帯) 1:降順 2:昇順 78 Web&携帯 ログイン認証 1:認証, 2:フリーパス 1 . 79 Web CPUリセット入力許可 1:禁止, 2:リセット許可 1 80 81 82 83 84 85

図 19.2.36 システムパラメータ設定画面(その他の設定)

## ①オブジェクト識別表示

ポイントオブジェクトの識別子の表示を OBJID か TAG 名のどちらで行うか設定します。 ※TAG 名化は現在(2008 年時点)試験的な実装となっています。ご了承ください。 (設定値) 1:OBJID 2:TAG 名

ポイント登録画面が以下のように設定されている場合の表示例を以下に示します。

ト登録		500B (	ED-	011394)				E	ND _
∛種類					選択/用	途(デフォルト設定)			
非圧縮)	DI	DO PI		AI AO IMG	基本	表示 警報 その他		汎用	
種別	OBJID	タグ名		ポイント名		属性設定	WЗ	MB	Ø
DI	di001	SW1-ROOM	ſ	閉センサ1		(ON/OFF) (正常/異常)	*	*	
DI	di002	SW2-OUT	ſ	閉センサ2		(ON/OFF)(正常/異常)	*	*	T
DI	di003	di003	c	i003		(ON/OFF) (ON/OFF)	*	*	•
	ト登録 V種類 非圧縮) DI DI DI DI	ト登録 / 種類 正確) 0BJID 0L 0L 0L 0L 0L 0L 0L 0L 0L 0L	ト登録 500B (C ジ種類 「圧縮) DI 00 PI 種別 0BJID タグ名 DI di001 SW1-ROCM DI di002 SW2-OUT DI di003 di003	ト登録 500B (ID= 7/種類 FIE部) DI 00 PI 種類 0BJID 夕グ名 DI di001 SW1-R00M 月 DI di002 SW2-0UT 月 DI di003 di003 d	ト登録     500B (ID=011394)       V種類     00 PI AI A0 IMG       種類     00 PI AI A0 IMG       種類     00 PI AI A0 IMG       種類     00 PI AI A0 IMG       I     40 IMG       I     40 IMG       I     500 PI AI A0 IMG       I     A0 IMG        I <td>ト登録     500B (ID=011394)       ダ種類     選択/用       IDI     00     PI     AI     AO       100     PI     AI     AO     IMG       100     PI     AI     AO     IMG       101     00     PI     AI     AO       101     00     PI     AI     AO       101     00     PI     AI     AO       101     00.01     SM1-R00M     Pilletンサ1       101     di002     SW2-0UT     Pilletンサ2       101     di003     di003     di003</td> <td>・登録       ・ 500B (ID=011394)       ・ 道根/用途(デフォルト設定)       ・ 道根/目       ・ (DN/OFF)(正常/見       ・       ・       ・       ・       ・</td> <td>・登録       ・ 5008 (ID=011394)       ・ 適抗/用金 (デフォルト設定)       ・        ・ 適抗/用金 (デフォルト設定)       ・        ・ ・       ・ ・       ・ ・</td> <td>・登録       ・5008 (ID=011394)       ・       ・       ・       ・       ・</td>	ト登録     500B (ID=011394)       ダ種類     選択/用       IDI     00     PI     AI     AO       100     PI     AI     AO     IMG       100     PI     AI     AO     IMG       101     00     PI     AI     AO       101     00     PI     AI     AO       101     00     PI     AI     AO       101     00.01     SM1-R00M     Pilletンサ1       101     di002     SW2-0UT     Pilletンサ2       101     di003     di003     di003	・登録       ・ 500B (ID=011394)       ・ 道根/用途(デフォルト設定)       ・ 道根/目       ・ (DN/OFF)(正常/見       ・       ・       ・       ・       ・	・登録       ・ 5008 (ID=011394)       ・ 適抗/用金 (デフォルト設定)       ・        ・ 適抗/用金 (デフォルト設定)       ・        ・ ・       ・ ・       ・ ・	・登録       ・5008 (ID=011394)       ・       ・       ・       ・       ・

図 19.2.37 ポイント登録画面

(OBJID 表示の場合)

選	訳-1	グルー	ープ 1 選択 (未設定)	ブル-	- プ 2 選択 (未設定)		選	択-2	
	全種類	接点)	い出力 OFF出力 ON/OF	下出力 _	積算入力 アナ入力	アナ出力		警報	ロック
	12					18.4	<b>若</b> 存十口		122 /
No.	OBJID		ポイント名	植別	テータ	採作	警報	291	通信
No. 1	OBJID di001	開 開 朝 セ	ポイント名 ンサ1	植別 DI	テータ OFF	· 开彩作	警報 -	-	通信

図 19.2.38 状態一覧画面(OBJID 表示)

(タグ名表示の場合)

見在 ン	状態一覧								EN
選	択-1	グループ 1 :	選択 (未設定)	グルー	- プ 2 選択 (未設定)		選	択-2	
	全種類	接点入力	ON出力 OFF出力 OF	v/OFF出力	積算入力 アナ入力	アナ出力		警報	ロック
				<u> </u>					
No.	タグ名		ポイント名	種別	データ	操作	警報	ロック	通信
No. 1	タグ名 SW1-RODM	開閉センサ1	ポイント名	利 DI	データ OFF	操作	警報 -	ロック -	通信 -

図 19.2.39 状態一覧画面(タグ名表示)

**②入力系ダイアログ画面選択** (「4章4.2.1 ポイント操作画面と操作ダイアログの種類」参照)

監視画面で使用する入力系ポイントのダイアログ画面で状態表示のみ許可するか、状態表示と設定 の両方を許可するか設定します。

(設定値) 1:表示のみ 2:表示+設定

状態の設定ができるダイアログ画面について

ポイントの状態ダイアログ画面は、基本的にポイントの現在の状態値を表示して確認するための機能 を提供しますが、計測未使用のポイントや擬似ポイント(「24 章 24.1.3」参照)として扱うもの等に関しては 状態値を設定できるようになっています。

ポイント名		
運転状態	1	
OBJID	現在の状態	
di001		OFF

設定		×
ポイント名 運転状態1		
OBJID	現在の状態	
di001		OFF
設定値	ロック・	警報 🥅
	0	設定

図 19.2.40 入力系ポイントのダイアログ(左:状態のみ、右:状態+設定)

### ③操作警報履歴初期表示時順(コンソール&Web&携帯)

操作及び警報履歴の一覧を表示する時の初期ソート順を選択します。

(設定値) 1:降順 2:昇順

#### ④Web&携帯 ログイン認証

Webブラウザや携帯端末からログインするときに、認証を行うか、認証無しでフリーログインを許可する かを設定します。

(設定値) 1:認証 2:フリーパス

```
    [フリーログイン画面の公開手順]
    ①本設定をフリーパス(2)に設定して KaracrixBuilder を再起動します。
    ②フリーパス環境下で(<u>bえて)ログイン認証でログイン</u>して公開したい画面を表示します。
    ③その画面が表示されているときのURLをコピーしリンクなどで公開します。
```

## ⑤Web CPU リセット入力許可

Webブラウザから KaracrixBuilder の実行されているホスト CPU(OS)の「リセット起動」「停止」を実行することを許可するかどうかを設定します。許可すると下図の枠内のボタンが表示されるようになります。

(設定値) 1:禁止 2:リセット許可



図 19.2.41 システムリセット実行画面

管理ユーザでログインし、2.と3.の実行ボタンを押すと、下図のような最終確認表示が出て CPU リセットあるいは停止を実行します。

1ボイント     ホスト CPUを「リセット起動」します。     1ボイント     1ボイント     ホスト CPUを「停止」します。       2.モニター     2.バスワード     実行の最終確認をします 最終確認実行     2.モニター     2.バスワード     実行の最終確認をします 最終確認実行     実行の最終確認をします       3計測グラ2     3リセット*     311測グラ2     3リセット*     311測グラ2	KARACRIX	設定選択		KARACRIX	設定選択	
2.モニター     2.バスワード     実行の最終確認をします     2.モニター     2.バスワード     実行の最終確認をします       3.計測グラフ 3.計型グラフ 3.11 2017     3.11 2017     3.11 2017     3.11 2017     3.11 2017	<u>1.ポイント</u>	<u>1.メール環境</u>	ホスト <b>CPU</b> を「リセット起動」 します。	<u>1.ポイント</u>	<u>1.メール環境</u>	ホスト <b>CPU</b> を「停止」 します。
<u> またが確認 来(1) キャンピル</u> <u> またが確認 来(1) キャンピル</u> <u> またが確認 来(1) キャンピル</u> <u> またがで確認 来(1) キャンピル</u> <u> またがで確認 来(1) キャンピル</u> <u> またがで確認 来(1) キャンピル</u>	<u>2.モニター</u>	<u>2.パスワード</u>	実行の最終確認をします	<u>2.モニター</u>	<u>2.パスワード</u>	実行の最終確認をします
	<u>3.計測グラフ</u>	<u>3.リセット *</u>	取称「Wask 天1」 イヤノビル	<u>3.計測グラフ</u>	<u>3.リセット *</u>	取って理認を笑け イヤノビル
<u>4.記称272</u> <u>4.記称272</u>	<u>4.記録グラフ</u>			<u>4.記録グラフ</u>		

図 19.2.42 最終実行確認画面

## (使用上の注意)

CPU のリセット、停止機能を有効にするには、KaracrixBuilder のシャットダウンコマンドを root ユーザで 実行する必要があるため以下の作業を行う必要があります。

% cd \$KARACRIX/sys/subin

% chmod u+s shutdowndOa (suid を立てて所有者の権限で実行されるよう設定) % su (root ユーザで作業)

# chown root:root shutdowndOa (所有者をroot ユーザに変更)

# exit (root ユーザから戻る)

%(作業終了です)

### 19.3 リモートユーザの登録

KaracrixBuilder では、インターネット環境やダイアルアップ接続を使用して監視、操作、制御機能をリモートから行なうことができます。「リモートユーザ」登録では、Web ブラウザや、携帯端末、Eメールを使用して KaracrixBuilder にアクセスする際の認証情報を設定します。

「システム環境設定メニュー」画面から"リモートユーザ"ボタンを選択して下さい。「Web/E-Mail ユーザ 登録」画面が表示されます。

デフォルトユーザ (削除不可)	Web/E-Mai	1 ユーザ登録			END ?
					$\overline{5}$
		ロッインユーリ名	一般者バスワート	官理者バスワート	
	1	1	*	*	┨╤
	1 2				
Web 登録 / ユーザ	3				
ユーザ					

図 19.3.1 リモートユーザの登録

①No. 認証アカウントの番号を表示します。数字の前に"!"マークが表示されている行は、使い方に注意が必要であることを示しています。

- ②ログインユーザ名ログインユーザ名を表示します。使用可能な文字は、アルファベット大文字、小文字、数字、記号です。(31文字迄)
- ③一般者パスワード 一般者権限ユーザでログインする時のパスワードを入力します。使用可能 な文字は、アルファベット大文字、小文字、数字、記号です。表示は"\*"で 表示されます。(23文字迄)
- ④管理者パスワードシステム管理者権限ユーザでログインする時のパスワードを入力します。
   使用可能な文字は、アルファベット大文字、小文字、数字、記号です。表示は"\*"で表示されます。(31文字迄)
- ⑤編集ボタン 登録されている認証アカウントの追加、削除を行ないます。

※パスワードには、アルファベットの大文字、小文字、数字、記号を混ぜたものをご使用になることを推奨します。

リモートからアクセスする場合の認証用の"ログインユーザ名"、"一般者パスワード"、"管理者パスワード"を登録します。

"No."欄「!0」の1行目にはデフォルトの値が設定されています。 本システムでは認証用に最低限1つのユーザ名、ユーザパスワード、管理者パスワードが必要になりま すので、1行目の設定は削除できない特別な扱いになっています。

"No."欄「!1」の2行目、「!2」の3行目の設定は、Webアクセスの管理者機能から認証ユーザーを登録 変更した内容を保存する場所として予約されています。本画面で登録を行ったものはWebブラウザ画面 からも変更することが可能ですので運用にご注意下さい。

管理者パスワードは、Web ブラウザや携帯端末からシステム管理機能を使用する権限を与える場合のパ スワードとして使用されます。

### **19.4 Eメール接続環境設定**(KaracrixBuilder-V3.50以降)

E メール送受信環境の設定を行ないます。「システム環境設定メニュー」画面から"E メール環境"ボタン を選択して下さい。「Eメール接続環境設定」画面が表示されます。

KaracrixBuilder では、Eメールをプログラム送信させる為の SMTP サーバと、外部からの操作メールを受信する為の POP サーバの設定を行います。

Eメール接続環境設定		END ?
✓ A1. SMIPサーバ1 /稼働	✓ B1. SMTPサーバ2 /稼働	✓ C1. POPサーバ /稼働
A2. SMTPサーバ1接続状態 エラー run (1) 0	B2.SMTPサーバ2接続状態 エラー <u> run (1)</u> 0	C2. POPサーバ接続状態 エラー run (5) 0
A3. SMTPサーバ1名 smtp.gmail.com	B3. SMTPサーバ2名 smtp.yahoo.co.jp	C3. POPサーバ名 pop.karacrix.jp
A4. ポート 587 ∴ A5. SMTPoverSSL	B4. ポート 465 ▼ B5. SMTPoverSSL	C4. ポート 995 🔽 C5. POPoverSSL
🔽 A6, StartTLS/SSL	💽 B6, StartTLS/SSL	C6. Apop
🗹 A7. SmtpAuth	📝 B7. SmtpAuth	
	⊡ B8. PopBeforeSmtp ->(C3.)	C9.アカウント名 C10.パスワード CCCCCのkaracriv まままままま
A9.アカウント名         A10.パスワード           AAAAA         ************************************	B9.アカウント名 B10.パスワード BBBBB ##########	C12. メール受信間隔時間(分)
A11. 自分のメールアドレス名	B11. 自分のメールアドレス名	10
AAAAA@gmail.com	BBBBB@yahoo.co.jp	
D1, SMTP1/SMTP2 D2, SMTP2/SMTP1	D3.送信数 1	swtp 25 plain subwission 587 plain, STARTTLS/SSL swtps 465 SMTPoverSSL pop3 110 plain pop3s 995 POPoverSSL

図 19.4.1 Eメールの接続環境設定

Eメールをプログラム送信する為の SMTP サーバは、信頼性を上げる為2つ用意されています。SMTP の 設定が2つ成されている場合は、成功する1通か、同時2通の送信かの2種類を選択できます。 「Eメール接続環境設定」画面では、状態表示を除く欄を設定して行きます。

### <u>A2. SMTP サーバ1 接続状態</u>(表示)

<u>B2.SMTP サーバ2 接続状態</u>

<u>C2. POP サーバ接続状態</u>

SMTP、POP サーバとの接続状態を表示します。表示の意味を以下に示します。

また、サーバ接続エラーが発生した場合その発生回数が"エラー"欄に表示されます。

<接続状態メッセージの見かた>

stop	機能停止中 (A1. B1. C1 の稼働ボタンが押されていない時)
-	実行待機中
run (?)	実行中(通信数:1-9999999)
rcv: ?	受信状況表示
snd: ?	送信状況表示
wait: ?	待ち状況表示
err: ?	エラー表示

エラー表示	原因と対策
err: username	設定ミス
err: password	1. ユーザ名 [A9.B9.C9.]
	2. パスワード [A10.B10.C10.]
err: gethostbyname	設定ミス
	1. SMTP サーバ名 [A3.B3.]
	2. POP サーバ名 [C3.]
err: send mail address	設定ミス、あるいは他の原因からの誘発
	1. 送り先メールアドレス誤記述 (プログラム記述ミス)
	2. サーバアクセス不良
err: socket	OS 内環境異常
	1. CPU 再起動チェック
err: connect	ネットワーク接続失敗 (初期接続失敗)
err: SSL connect	1. ネットワーク接続環境チェック
	2. ポート番号[A9.B9.]、SSLボタン等の接続条件再確認
	3. CPU 再起動チェック
err: ComConnect-Timeout	ネットワーク接続失敗(サーバ接続後無応答等発生)
err: ready response	1. 様子見
	2. CPU 再起動チェック
err: no STARTTLS in a server	 サーバ未対応
err: apop	1. 接続条件再確認
err: cram-md5	認証内部エラー
err: auth-login-1	認証エラー
err: auth-login-2	1. ユーザ名、パスワード再確認 [A9.B9.C9.A10.B10.C10.]
err: auth-login-3	2. ポート番号[A9.B9.]、SmtpAuth ボタン等の接続条件再確認
err: auth-login-4	
err: auth-login-5	
err: mail-from	設定ミス
	1. SMTP に設定した自分のメールアドレス名 [A11.B11.]
err: stat	通信エラー
err: helo	1. システム再実行
err: ehlo	2. CPU 再起動チェック
err: data	
err: quit	

A1. SMTP サーバ 1/稼働

B1. SMTP サーバ2/稼働

C1. POPサーバ/稼働

### サーバとの接続を有効にする場合は、ボタンにチェックを入れます。

チェックされない場合、サーバ接続は無効となり、サーバ接続状態は、"stop"となります。

A3. SMTPサーバ1名

<u>B3.</u> SMTPサーバ2名

<u>C3. POPサーバ名</u>

接続サーバ名を指定します。(IP アドレスでも記述可能)

A4. ポート

B4. ポート

C4. ポート

接続するサーバのサービスのポート番号を指定します。

- 例) SMTPサーバ: smtp (25), submission (582), smtps (465) POPサーバ: pop3 (110), pop3s (995)
- A5. SMTPoverSSL
- A6. StartTLS/SSL
- B5. SMTPoverSSL

### B6. StartTLS/SSL

SMTP サーバと、SMTP over SSL あるいは StartTLS/SSL 通信する時にチェックを入れます。

- A7. SmtpAuth
- B7. SmtpAuth

SMTPサーバと接続する時に、アカウント認証させるかどうかを指定します。(通常使用します) 認証の優先レベルは、CRAM-MD5、LOGIN、PLAINの順で1つ行います。

#### B8. PopBeforeSmtp->(C3.)

SMTPサーバ2と繋げる際、その認証にPOPを使用する時にチェックを入れます。 この時 C1.~C10.の POP 設定は有効になっていないといけません。

### C5. POPoverSSL

POPサーバと、POP over SSL 通信する時にチェックを入れます。

#### C6. Apop

POPサーバの認証に、Apop を使用する時にチェックを入れます。

A9. アカウント名

<u>B9. アカウント名</u>

<u>C9. アカウント名</u>

アカウント(ユーザ)名を指定します。

サーバによっては、アカウント名は、名前だけでよい場合と、@以降のドメインを含めたものでなけれ ばならない場合があります。

例) アカウント名だけの場合 -> AAAAA
 ドメイン付きの場合 -> AAAAA@xxxxxx.xx

<u>A10. パスワード</u>

<u>B10. パスワード</u>

<u>C10. パスワード</u>

パスワードを指定します。

A11. 自分のメールアドレス名

B11. 自分のメールアドレス名

SMTPサーバに登録した、メールアドレスを指定します。

このメールアドレスは、メールシステムの Return-Path に用いられる必須のデータです。

### C12.メール受信間隔時間(分)

POP サーバに、 "C9.アカウント名" 宛てのメールを受信する間隔時間を指定します。

単位は、分です。

指定値に、"0"を指定した場合、間隔受信機能は停止します。(PopBeforeSmtp機能は動作)

※メールを受信する場合、頻繁に POP サーバにアクセスすると、サーバ管理によっては制限されますので設定値には 注意が必要です。

### D1. SMTP1/SMTP2

D2. SMTP2/SMTP1

SMTPサーバが2つ機能している時の、送信順番を指定します。

D1. はサーバ1を送信してからサーバ2を送信します。 D2. はその逆です。

D3. 送信数

SMTPサーバが2つ機能している時、メールを送信成功する最初の1通だけにするか、同時に2通送 信するかの設定をします。前者の場合の送信数は1、後者の場合は2とします。

※送信数を2にしておいてSMTPサーバが1つしか有効になっていない場合、送信数は1として動作します。

### 19.5 画像記録方式の設定

KaracrixBuilder では、カメラ画像などのイメージ入力を JPEG ファイルとして保存記録することができます。

画像記録機能を使用するために、はじめに画像記録方式の設定を行なって下さい。画像記録方式には、 以下の2つのモードが用意されていますので、どちらかの画像記録モードを選択する必要があります。ま た、画像記録に使用できるディスクの空き容量を検討して設定して下さい。

### エンドレス記録

記録開始時刻から「画像記録条件設定」画面での記録条件に従って画像記録ファイルを生成します。記録画像が、保存期間を越えた時点で古い記録ファイルから上書きされて行きます。この記録動作を繰り返します。

### ワンウェイ記録

記録開始時刻から「画像記録条件設定」画面での記録条件に従って画像記録ファイルを生成します。記録画像が、保存枚数を越えた時点で記録を終了します。

「システム環境設定メニュー」画面から、"画像記録方式"ボタンを押して「画像記録方式設定」画面を表示します。

既に記録画像が保存されている場合、本画面での設定を変更するには、記録画像を一度クリアする必要があります。メインメニューから"タイムラプス"→"記録設定"ボタンを選択して「画像記録条件設定」画面にて、記録停止を確認後"全記録ファイルの消去"ボタンで記録画像のクリアを行って下さい。



図 19.5.1 画像記録方式設定画面

①記録実行状態
 記録実行状態を以下の様に表示します。
 実行中:記録中です。
 終了中:記録が終了しています。(ワンウェイ記録)
 停止中:記録していません。

記録実行状態	現ファイル使用容量(byte)
実行中	21,000

図 19.5.2 画像記録実行中の表示

②現ファイル使用容量(byte)

生成された画像記録ファイルの現時点での容量を表示します。

③記録ポイント名

記録する IMG ポイント名を選択します。ここで選択した IMG ポイントには、動画像入力が割り当てられている必要があります。 (「20章 オブジェクト環境設定」を参照)

④記録制限容量(byte)

画像記録に使用できる最大ディスク容量を設定します。本項目の表示は、byte 単位になっていますが、 数値データ入力ダイアログでは、Mbyte 単位で入力します。

例)1Gbyte の入力する場合

入力值 -> 1000 (Mbyte)

⑤エンドレス記録ボタン

エンドレス記録方式で記録する場合に選択します。

⑥ワンウェイ記録ボタン

ワンウェイ記録方式で記録する場合に選択します。